

P 計画の基本事項				
基本目標	3 読書ネットワークの充実			
施策	(1) まどかぴあを中心としたネットワークの推進			
施策の方向性	本の専門家である司書へ誰もが気軽に相談できる窓口を設置し、市民及び関係機関へ広く周知を行います。また、市民の読書活動を推進するために、ICTの活用等、図書館と学校、地域の連携のあり方を検討していきます。			
主な取組	①相談窓口の充実			
	②時代に即した連携のあり方の検討			
成果指標	相談窓口・レファレンス 利用者満足度	策定時点	目標値(R9)	
		-	80.0%	
D 令和6年度(具体的な事業実施状況調査より)				
評価指標	重点事業	指標	実績(R6)	目標値(R6)
評価指標	相談窓口及びレファレンスサービスの活用促進	年間受付件数	8,484件	6,500件
主な取組の実施状況及び今後の方針	①相談窓口の充実		達成状況	
	<p>◆まどかぴあ図書館では、レファレンスサービスの活用促進のため、学校やボランティア団体などからの依頼で出前講座を実施し、延べ35人を派遣した。団体向け文書で案内した結果、認知度が向上しているため、今後も相談窓口の利用促進と団体への周知を行っていく。</p> <p>◆まどかぴあ図書館では、気軽に相談できる体制の強化のため、土日でも平日も可能な限り児童カウンターに職員を配置し読書相談に対応した。しかし、子どもたちが気軽に相談できていないように感じられるため、今後は掲示物や積極的な声かけで児童カウンターの利用を促していく。</p> <p>◆まどかぴあ図書館では、親子サロンへの団体貸出と、市内施設へのリサイクル本提供を実施した。併せて、就学前の乳幼児とその保護者へ、絵本の紹介等を行い、普段来館しない層へのまどかぴあ図書館のPRはできたが、親子サロンの環境整備やリサイクル本提供における参加団体の固定化が課題として残った。今後もこれらの活動を継続していく。</p> <p>◆まどかぴあ図書館では、施設等へ年代別情報誌や団体向け利用案内を送付した結果、団体貸出の登録・更新が計84団体(新規17団体)に達した。今後も市内公共団体や福祉団体などにも引き続き利用案内を送付し、読書相談等の利用増加を図っていく。</p> <p>◆まどかぴあ図書館では、施設管理者等に向け、上筒井文庫や下大利小学校司書を対象に、選書や本の装備など実務的な内容で2件の出前講座を実施し、実践的な指導を行った。今後も学校や地域貸出文庫などと連携を強化し、読書活動を積極的に推進</p>		<p>①効果が期待以上 ※目標を超えるレファレンスサービスの受付があったことから、期待以上とした。</p>	

	できる体制を支援していく。	
	②時代に即した連携のあり方の検討	達成状況
	◆まどかぴあ図書館と学校図書室の連携では、団体貸出に向けたやりとりを安定して行えた。R6ワーキングチームではまどかぴあ図書館と学校の図書システム連携について協議したが、現時点で双方に必要性が感じられなかった。今後は児童生徒用タブレットに蔵書検索システムを導入する方向で検討を進めるとともに、R7年度からは一部の学校図書室でのまどかぴあ図書館の予約本の受け取りサービスを開始する予定である。	②期待どおり
C 評価		
推進委員会 評価	◆進捗状況は「達成状況」に記載のとおり。	
検討が 必要な事項	◆なし。	
A 改善		
改善結果		